

■2009/2010 シーズン SAJ 公認マスターズスキー競技会国内特別ルール

2009/2010 シーズン SAJ 公認マスターズスキー競技会国内特別ルールは、(財) 全日本スキー連盟 (以下 SAJ) が公認するすべてのマスターズスキー競技会の運営に適用し、この特別ルールにない競技規則は、国際スキー連盟 (以下 FIS) が定める国際競技規則 (以下 ICR) とその関連規則および、FIS マスターズルール (アルペン競技のみ) の最新版が適用される。

1 競技会参加資格

1. 1 当該年度の SAJ 会員登録及び、競技者登録が完了し、SAJ 競技者登録番号を取得した上で、競技年の 12 月 31 日までに 30 歳以上であること。
1. 2 各都道府県スキー連盟が推薦した者であること。
1. 3 健康診断を受けて、健康である者であること (ICR221 参照)
1. 4 スポーツ傷害保険、またはそれに準じる傷害保険に加入済の者であること。

2 参加人員

2. 1 全日本マスターズスキー選手権大会

①アルペン競技

各都道府県の参加人員は、各組とも 10 名以内とする。ただし、大会開催都道府県は各組 15 名以内を原則とする。参加申込者数が大幅に増加し、運営困難と認められた場合は開催地枠、または日程を変更することがある。また参加者が極めて少ない場合は、大会開催都道府県は参加枠 15 名を超えてもよい。

②クロスカントリー競技

参加人数の制限はない。

2. 2 上記以外の SAJ 公認マスターズスキー競技会 (B 級)

アルペン競技、クロスカントリー競技ともに参加人数の制限はない。

3 競技種目

3. 1 全日本マスターズスキー選手権大会

①アルペン競技：ジャイアントスラローム (GS)

②クロスカントリー競技：クラシカル・フリー

3. 2 上記以外の SAJ 公認マスターズスキー競技会 (B 級)

①アルペン競技：スラローム (SL)・ジャイアントスラローム (GS)

②クロスカントリー競技：クラシカル・フリー

- 4 グループ分け (※年齢起算は開催年の 1 月 1 日現在とする)

A グループ：男子 30 歳以上～59 歳まで

B グループ：男子 60 歳以上

C グループ：女子 30 歳以上

5 使用コース

アルペンコース、クロスカントリーコースともに SAJ 公認競技施設で開催されることが望ましいが、SAJ 公認競技施設として公認されていなくても大会は開催できる。ただし、以下の事項を考慮すること。

5. 1 アルペン競技

競技者の年齢が 30～80 歳以上の方も参加する年齢幅の広い競技会であるので、特にコースの選定にあたって次の点を考慮すること。

A グループの選手に関しては、日頃の練習の成果が十分発揮できるコースで、安全にも十分配慮すること。

B グループと C グループについては、特に安全には十分配慮すること。

その他については、FIS マスターズルール（アルペン）の、B. II）.MA31）を参照のこと。

5. 1. 1 ジャイアントスラロームコース

1 回の滑走で勝敗を決める場合は下記の標高差が望ましい。

A グループ：標高差 250m～350m

B・C グループ：標高差 200m～300m

1 回の滑走で勝敗を決める場合は、各グループのラップタイムで 55～60 秒、2 回の滑走の合計で勝敗を決める場合は、合計タイムで 90～110 秒程度が望ましい（全日本マスターズスキー選手権大会の場合、1 回の滑走で勝敗を決めるため、コースの長さは A グループ 850m、B・C グループ 750m 以上が望ましい）。

コース幅は、通常 40m 以上にすべきである。またラインや地形的な条件次第では 40m 以下の幅であっても安全を確認した上で、認めることができる。また競技途中で、コース内にワダチや岩が出た場合は、内側のポールを設置しなおすことが勧められるが、その際は 1m 以上内側にしないこと。基本的な滑走ラインは変更されないので、追加のインスペクションは行わない。抗議を避けるためにも、このことはチームキャプテンミーティングにおいて周知し、了解が得られるようにすること。

5. 1. 2 スラロームコース

すべてのカテゴリー：標高差 最低 120m～最高 180m

（カテゴリー A と B・C は違うコースを設定するよう考慮すること。）

コースは選手が適正かつ、正確なターンとスピードを一体化することがで

きるようにデザインされ、しかもあらゆる回転技術を最大限に試すようなコースであること。なお、B・Cグループに関してはストレート1組、しかもゴール近くには難しい旗門はセットしないなど、安全面に考慮すること。最優先事項として、選手の安全が考慮されること。

旗門数（2007/2008 シーズンより方向転換数）標高差の30～35% ±3
セットに関する詳細は、FIS 決定事項（801.3）に準拠することが望ましい。

5. 2 クロスカントリーコース

生涯スポーツとしてのクロスカントリースキーであること考え、マスターズ競技としての難易度を緩和し、参加者の増加と普及を目的としたコースとする。全カテゴリーにて同一コースを使用することが多いため、急な登り坂、急な下り坂、また選手同士が近づきすぎてお互いに恐怖感を感じるようなコースは避けること。

6 競技方法

SAJ 公認マスターズスキー競技会国内特別ルール（本書）による。ただし、当該大会要項に定められたものが優先する。

6. 1 アルペン競技

6. 1. 1 ジャイアントスラローム（全日本マスターズスキー選手権大会）

1日1回の滑走を2日間に渡って競技し、第1戦・第2戦についてそれぞれの成績を決める。

6. 1. 2 ジャイアントスラローム（上記以外のSAJ公認マスターズ競技会）

当該大会の規定による。

6. 1. 3 スラローム

当該大会の規定による。

6. 2. クロスカントリー競技

男子30～74歳、女子30～59歳は5km、男子75歳以上、女子60歳以上は3Km。

7 安全面

競技者の健康と安全を第一に、次のことを考慮すること。

悪天候、雪のコンディション、コースの準備状況、または現在行われている競技に視界の危険が伴う場合は、 Jury によって競技の続行、中断、キャンセルの判断が行われる。

7. 1 アルペン競技

スキーストッパーの装置およびクラッシュヘルメットを着用すること。

8 スタート順

8. 1 アルペン競技

8. 1. 1 A、B、C グループのすべての競技が同一コースで開催されるときは、第1戦・第2戦とも、C、B、Aのグループ順とし、それぞれの組内でSAJマスターズポイントを採用する。
 8. 1. 2 複数のコースで実施するときも、上記に順ずる。但し、状況によっては変更することができる。
 8. 1. 3 各グループ内では、年齢の高い組から順にスタートする。
 8. 1. 4 上記は、2本レースの際の、2本目にも適用する。
 8. 1. 5 全日本マスターズスキー選手権大会では、第1戦・第2戦ともに、SAJマスターズポイントを採用し、上位5名を第1シードとしてドローし、以下ポイント順にスタートし、その後には、無ポイント者をドローする。但し、気象状況を判断し、選手の安全を確保するために、ジュリーは各組のスタート順を変更することがある。
8. 2 クロスカントリー競技
クロスカントリーICR 最新版に順ずる。

9 ポイント

9. 1 アルペン競技

9. 1. 1 SAJ公認マスターズスキー競技会に参加した選手は失格者、棄権者を除き全員がポイントの取得の対象者となる。
9. 1. 2 SAJマスターズポイントリストの発行回数は、シーズン開始前までにSAJ競技データバンクにて公開される。全日本マスターズ選手権大会は、当該有効ポイントリストを採用する。
9. 1. 3 ポイントの計算期間は、毎年11月15日に始まり、翌年4月15日に終わる。
9. 1. 4 ポイントの対象となる期間においては、成績が悪いため競技者が本連盟のランキングを失うことはない。
9. 1. 5 本連盟に公認された競技会は、アルペン競技会公認規定第1条第1項の規定を満たすものであればポイント計算の対象となる。
9. 1. 6 ポイントリストNo.1（基本ポイント）に記載されている評価は、一つの成績とみなされる。全ての種目に対して、もしも、競技者が期間中、第1回より良い成績を得れば、その成績と第1回ポイントの平均が評価される。もし、第1回より二つの良い成績を得れば、これら二つの成績の平均が評価される。その良い評価は、SAJポイントリストに考慮され、評価期間の終わりには、基本ポイントリストは、無効となり、各グループの二つのベスト成績が考慮

される。

9. 1. 7 ポイントの算出方法について

ポイントのグループは、各カテゴリー（A,B,C）毎に分けて計算され、各カテゴリーの一番早い選手が0ポイントとして計算される。（年齢別に算出する必要はない）

9. 1. 8 本連盟の公認大会は、計算期間内に行われた試合数によつての評価は、以下のミニマムポイントが加算される。

①A級大会

全日本マスターズスキー選手権大会 0点

②B級大会

上記以外のSAJ公認マスターズスキー競技会（B級大会）のミニマムポイントは、有効マスターズポイントリストの5位のポイントとし、小数点第2位は切り捨てとする。

9. 1. 9 公式成績はSAJアルペン技術・運営ハンドブックに基づいて所定の箇所に発送すること。尚、公式記録についてはレース終了後直ちにSAJ競技データバンク宛（taikai@saj-data.jp）にE-mailで電子データにより送付すること。

9. 2 クロスカントリー競技

現時点では参加人数が少ない関係で、正規のポイント計算が適用出来ずにポイント無しとなる事を回避する特別措置として、レース結果で算出されたポイントをそのまま採用することとする。

10 表彰

10. 1 全日本マスターズスキー選手権大会

第1戦・第2戦それぞれの各組1～3位に賞状とメダル、4～10位に賞状を授与する。

10. 2 上記以外のSAJ公認マスターズ競技会

当該大会の規定による。

11 競技用品

SAJ競技データバンクに掲載されている、最新版FIS競技用規格を参照のこと。

12 公式成績

公式成績は所定の箇所に発送すること。なお、公式成績については、レース終了後直ちにSAJ競技データバンク宛にメールで送付すること。

1 3 競技会の中止・延期

SAJ 公認マスターズスキー競技会組織委員会は、雪不足などの不可抗力によって大会開催が不可能と判断され中止及び日程変更をする場合、都道府県スキー連盟、SAJ 事務局及び SAJ 競技データバンクにできるだけ早い時期に、連絡しなければならない。

1 4 技術代表の派遣

1 4. 1 アルペン競技

全日本マスターズスキー選手権大会の技術代表は、SAJ マスターズ委員会で選考し、上記以外の SAJ 公認マスターズ競技会については各ブロックで選考し、10月10日までに SAJ マスターズ担当者に報告すること（技術代表の選考については、大会開催県以外からの選考に留意すること）。

1 4. 2 クロスカントリー競技

SAJ クロスカントリー技術・運営委員会で選考し、決定する。

1 5 ポイント対象競技会の申請

全日本マスターズスキー選手権大会および SAJ 公認マスターズスキー競技会を開催する大会組織委員会は、実施年月日、申請団体名、開催地、大会名、種目、競技日、使用コース名、コースプロフィール、組織委員会名、連絡先を所定の申請書に記入の上、所属加盟団体を通じて、開催予定競技年度前の4月25日までに、SAJ 競技本部長宛に提出しなくてはならない。

1 6 ワックスルーム

大会組織委員会が参加選手に宿泊施設を紹介する場合は、ワックスルームが用意されている宿泊施設を紹介しなければならない。

補足：ICR は4年に1度書き換えられるが、その間に発生、又は改定される競技規則は、「アルペン国際競技規則決定事項及び指導事項北半球版（Precisions and Instructions Edition：Northern Hemisphere）」を参照、確認すること。すべての競技ルールに関する情報は、「SAJ 競技データバンク (<https://saj-data.jp/>)」に掲載されている。

以上